

松林山の会

2017年8月山行報告

那須岳1915m ~ 三本槍岳1917m

*実施日 8月23日(水) ~ 24日(木) 1泊2日

*参加者 大滝(L) 野田 八野

*往路

茅ヶ崎 → 東京 → 那須塩原

7:50 8:55/9:16 なすの255号 10:26

バス → 那須ロープウェイ → 山頂駅

10:45発 12:00/12:20 12:25

*コース

1日目 曇りのち雨

那須ロープウェイ山頂駅 → 三角点 → お鉢めぐり → 茶臼岳 →

13:00 13:25 13:50

峰の茶屋跡 → 避難小屋 → 延命水・沼原分岐 → 三斗小屋温泉大黒屋

14:25/14:35 14:55 15:25/15:35 16:00

2日目 一時小雨、曇りのち晴れ

大黒屋旅館 → 隠居倉1819m → 熊見曾根分岐(旭岳分岐) → 清水平 →

7:20 8:35 9:15/9:20 湿原

三本槍分岐 → 三本槍岳 → 北温泉分岐 → 赤面山分岐 → 中の大倉

10:05 10:40/10:50 11:20/11:55 12:15

尾根 → スキー場分岐 → 北温泉 → 北湯入口バス停

13:30 14:45 15:05

*復路

バス北湯入口 → 那須塩原駅 → 上野 → 茅ヶ崎

15:32 16:45/17:02 やまびこ216号 18:10/18:24 19:30

*費用 合計 25,990円

交通費 茅ヶ崎 ⇄ 那須塩原 乗車券 3,670 × 2 = 7,340

自由席特急券 2,800 × 2 = 5,600

東野交通バス フリーパス(2日有効) 2,600

那須ロープウェイ 950

宿泊費 大黒屋 1泊2食 9,500

感想

1日目 8月23日(水)

夏、真っ盛りなのに、記録更新となる雨天が続いたが、なんとか回復の兆しとなる。バスの車窓から、那須高原の景色を楽しみながら、1380mのロープウェイ山麓駅に到着。山頂駅でラーメンを食べ、いよいよ、茶臼岳めざして、出発。風とガスのなか、火山岩がゴロゴロの道を登って行く。頂上まで、あと少しというところまできたが、真っ白なガスの中、あまりの強風に断念して、下ることにした。途中の道標に迷いながら進んで行ったとき、パッとガスがはれた。道を間違えて、お鉢周りをしていたことに気づく。すぐそこが頂上だった。やったね!!八間石という巨岩帯を抜け、峰の茶屋跡に着く。飛ばされそうな強風をさけて、峰の茶屋避難小屋でしばし休憩。この山は、強風の名所らしい。

三斗小屋へは歩きやすい樹林帯が続く。延命水で一息つき、あやしくなってきた空を見ながら、先を急ぐ。小雨が降り出し、湯煙が出ている小さい沢を渡ると屋根が見えた。大粒の雨になると同時に大黒屋に着いた。明治44年創業のおもむきのある温泉宿である。食事は部屋まで運んで来てくれ、お風呂は熱めだったが気持ちよかった。しかし、一晩中、風雨が強く、なかなか寝つけなかった。

2日目 8月24日(木)

雨も止み、少し晴れ間もみえたが、出発のころ、小雨が降りはじめた。しばらく登った温泉神社ぐらいから、すこし大降りとなり、雨具の上着を着る。開けた平坦地に出ると源泉地あり、ブクブクと音をたて、白い湯気があがっていた。隠居倉から熊見尾根分岐へ。稜線に出ると雨も止み、一瞬、ガスがはれて旭岳の姿が現われた。お花畑の稜線を歩き、清水平という湿地帯に出る。北湯との分岐を分け、ぬかるんだ道を進み三本槍岳の頂上へ。封建時代に黒羽藩、会津藩、白川藩が三国境の山頂で三本の槍を立てた行事からきた名の三本槍岳。なだらかな頂上だが、ガスのなかで何も見えず、そうそうに下りてきた。北湯分岐まで戻り、ベンチで昼食にする。ときどきガスがはれ、旭岳、茶臼岳が見られるようになった。那須の山々は広く、標高が2000m弱なのに、ハイマツの稜線が続く。風のきつい北の山を実感。中の大倉尾根はジャリ道を針金で滑り止めしてあり、非常に歩きずらく、おまけに長く、つらかった。やっとな、スキー場分岐だ。ここからは一転して、ブナ、ミズナラ、ダケカンバの樹林帯が続く。シロヤシオの木々もすばらしかった。やっとな、北温泉に辿り着く。昨日から、ずっと咲き続けていたエゾリンドウともここでお別れ。

ここからは、かなり急な車道をバス停まで歩いた。今回の一番きついコースかもしれない。この道を、東京から来ていた家族の男の子がいつしよに歩いてくれた。もう、青空も出て、最終バスに乗り、無事に帰路に着いた。

記 八野